

学術資料とコミュニケーション

2014年4月14日(月) 17:30-19:00

学術資料のアーカイブ化、学術資料をもとにした写真資料集や映像番組などのコンテンツ制作、博物館展示など、これまでに携わってきた仕事や活動を紹介しながら、それぞれに重視してきたことや、表現メディアによる違いなどを「コミュニケーション」をキーワードに考えてみたいと思います。(ゲストより)

ゲスト 山下 俊介 氏

京都大学 宇宙総合学研究ユニット 特定助教

写真という記録資料を通して、アーカイブの世界に関わるように。京都大学の学術資料(フィールドワークで得られた写真や映像、音声記録、あるいは講義ノートなどなど。)のアーカイブ化に携わってきました。京都大学研究資源アーカイブ、総合博物館での仕事を経て、今春から宇宙総合学研究ユニットに所属。

会場 京都大学 吉田泉殿

- *京町家風の建物です。
- *普通の家のように見えるので、通り過ぎないようにご注意ください。
- *入り口に「京都大学吉田泉殿」という看板がかかっています。

定員 25名程度

- *当日参加も可能です!
- *お申し込みをいただいた方には、リマインダーをお送ります。

持ち物 (おなががすく時間なので)
夕ご飯を持参ください。

主催 科学コミュニケーション研究会
関西支部有志(加納 圭、水町 衣里)



お申し込みはコチラから → <http://bit.ly/1pF8giX>